

令和2年度 太田市下水道事業等会計決算報告

令和2年度の太田市下水道事業等会計の決算状況が整ったので、概要を説明します。



太田市都市政策部
下水道課 管理係
0276-47-1949



太田市下水道事業等会計

太田市では、家庭や事業所から排出される生活雑排水等の処理を、公共下水道事業の他に、住宅団地汚水処理事業、農業集落排水事業、戸別浄化槽事業において行っております。

この4つの事業を合わせて太田市下水道事業等会計という一つの会計で運営をしております。

1、工事について

新設

汚水管渠を **5,000.1 m**
造りました。

5億4,576万5千円かかりました。



これによって、認可計画面積
2,563.5haに対して、**2,107.06ha**
の整備済となったので、整備率は
82.2%となりました。



処理区域内人口 **136,818 人**に
対して、接続人口が **107,494 人**
だったので、接続率は **78.6%**と
なりました。



更新



**古くなった污水管の更新工事
や耐震化工事を 225.9mに加
え、蓋の取替工事をしました。**



2億3,882万1千円かかりました。



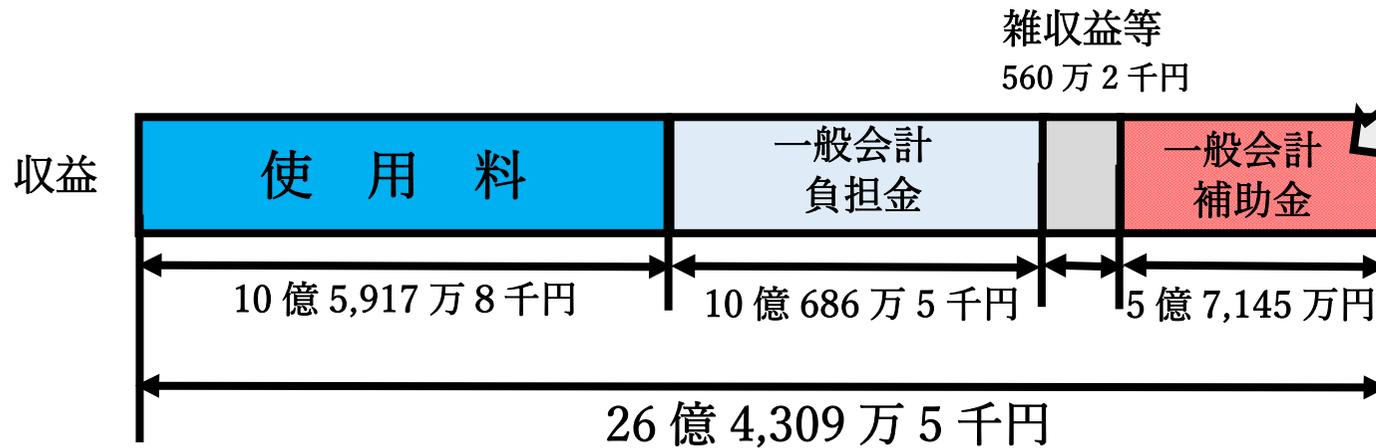
**第二浄化センター
沈砂池機械・電気設備更新工事
沈砂池ポンプ棟耐震補強工事
等を行いました。**



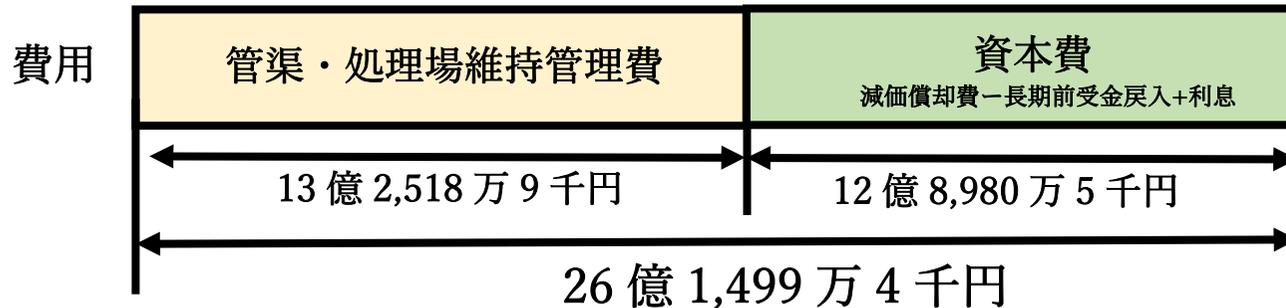
2億5,258万4千円かかりました。

2、損益について

※4 事業合計



総費用に対して収益が足りない分は、一般会計補助金で穴埋めしています。



維持管理費

下水道管を直したり、機械を正常に運転するのに必要な経費など

資本費

過去に整備した下水道管や処理場の借金の返済に必要な経費



収益から費用を差し引いて**2,810万1千円**の純利益です。

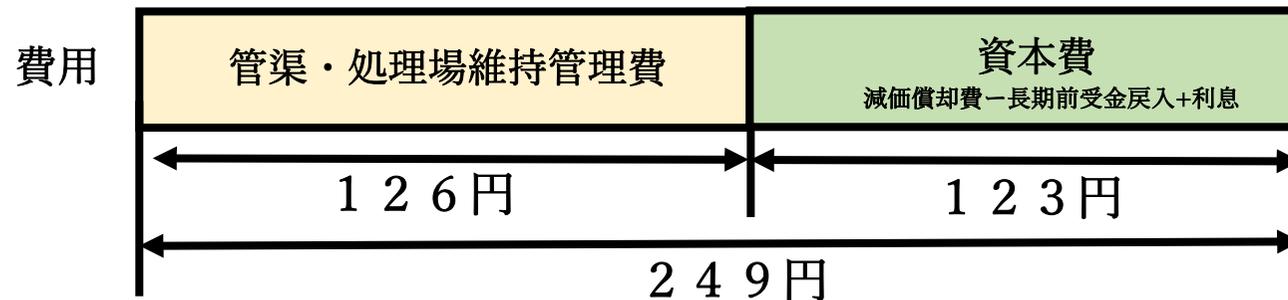
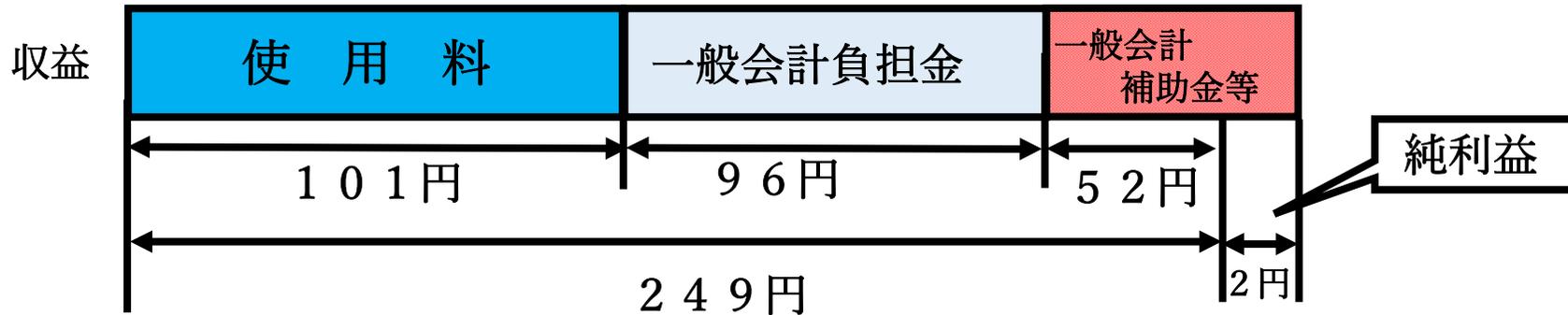
2、損益について

※1 m³あたりの単価

※4 事業合計

それぞれの決算額を有収水量（使用者が流した汚水の量）で割り返して、1 m³あたりどのくらいの金額なのかを算出

R2 有収水量：10,489,522 m³



汚い水をきれいな水にするためにかかる費用は249円/m³かかっています。

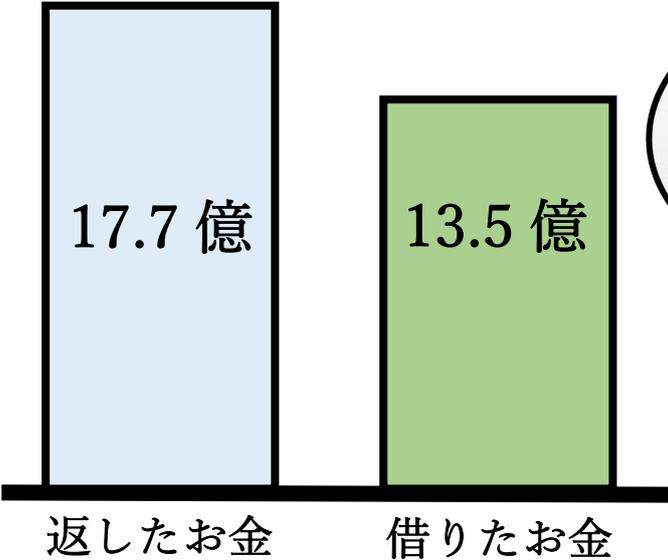


かかった費用249円から一般会計負担金96円を差し引いた153円が使用料の対象経費となりますが、使用料は101円なので、差額の52円分を一般会計から補助金として穴埋めしています。

3、借入金について



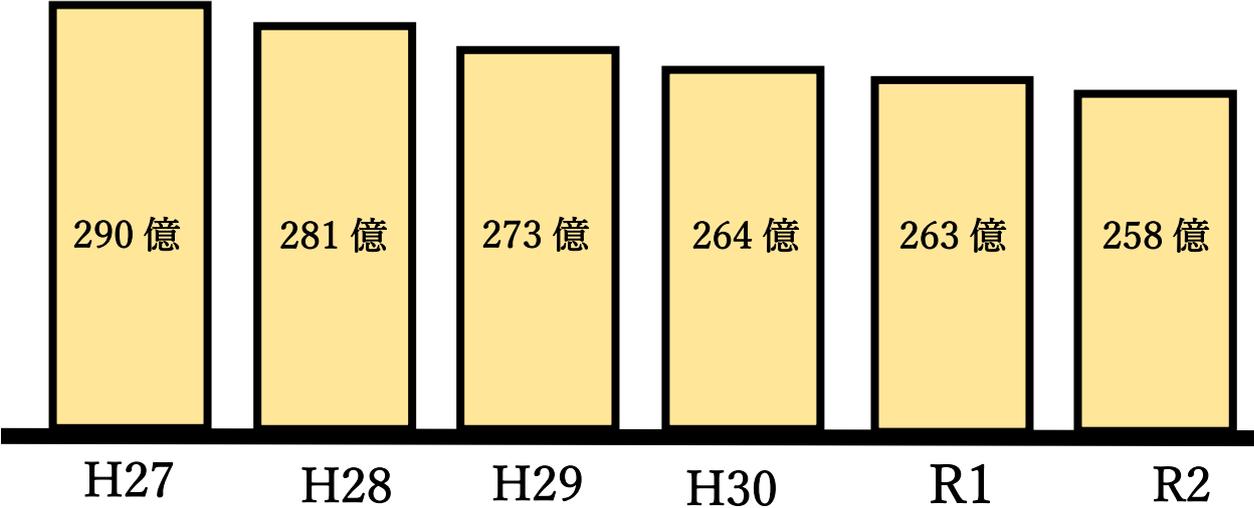
下水道事業は下水道管を造って、使用料という収益をあげているので、下水道管をどんどん伸ばしていきたいのですが、下水道管を造るための財源は借金です。借りたお金は結局使用している人たちの使用料で返していかなければならないので、むやみに造ればいいという訳ではありません。太田市では、借金が増えすぎないように「償還元金を超えない借入金の発行」ということをして、財務規律を保つようにしています。



返すお金の金額よりも借入金額を低くすることによって借金が膨れ上がっていくことを防いでいます。



借入金の残高



少しずつ残高も減ってきています。借金が減れば払う利息も減るので使用者の負担も減っていきます。